

3月8日～10日 JDS 岡山支部のパネル展**7団体と共に第13回「ともネットパネル展に」に参加**

3月8日（火）から10日（木）までの3日間、岡山市役所1階の市民ホールで開かれた「ともネット」（ともに育むネットワーク）パネル展に参加しました。ともネットは、様々な障害や病気をもった子どもを育てている保護者のグループが、相互の理解と交流を図り、共に協力して子どもを健やかに育てることを目的に活動しています。



勉強や交流のための会合を開くほか、活動紹介のためのパネル展示や講演会・シンポジウム等を毎年、開催しています。

今年度のパネル展で岡山支部は、「世界ダウン症の日」を広く知っていただくため、ポスターを作成して展示しました。子どもたちの笑顔と一緒に、世界ダウン症の日について記載された国連決議文を立ち止まって見てくださる方も大勢いらっしやって、とても良い啓発の機会になりました。

展示のほか、9日・10日の昼にはハンドベルの演奏もあり、会場は澄み切った音色に包まれました。

【岡山支部 事務局長：定藤 容志枝^{さだとう}】

◀岡山支部独自制作のポスターのタイトルは「あなたに伝えたいことーダウン症があるぼくたち・わたしたちー」

3月13日 JDS 群馬支部のセミナー**将来を見据えた日々の子育ての大切さを実感**

3月13日（日）に世界ダウン症の日2016関連イベントとして、平成27年度日本ダウン症協会群馬支部第2回セミナーを開催しました。講師に東京学芸大学教授 菅野敦先生をお招きして、「将来我が子が豊かな生活を過ごせるために」というテーマで、幼児期から成人期に至るまでのお話をいただきました。群馬支部会員はもちろん、各学校関係者、デイサービスや療育施設などのスタッフの方々も含め、約50名が菅野先生のお話に耳を傾けました。

漠然とした子育てをしてしまいがちですが、将来我が子にどのような生活を送ってほしいのか、何を目指したらよいのかを考えながら日々の子育てを行うことの大切さを学びました。

今回のようなセミナーを通して、いろいろな方々にダウン症について知ってもらい、学んでいただくことは、今後の子どもたちの将来にとっても重要なことだと思います。群馬支部では、このような機会を大切に活かしてこれからに繋げていきたいと考えています。

【群馬支部 支部だより担当：福島 優子】



親だけでなくさまざまな立場の方が参加したセミナー